

働いてた頃より
忙しくなってきた。

JAバンク

JAの年金受取

明日へつなぐJAバンク

JAバンクはどなたでも
広くご利用いただけます。

JAバンク新潟県信連

新潟市中央区東中通一番町189番地3 TEL 025-230-2121(代)
URL <http://shinren.jabank-niigata.or.jp>



JAバンク新潟県信連は
「みんなのよい食プロジェクト」に
取り組んでいます。

Culture Niigata

2016.03-05
vol.86

【平成28年2月25日発行】発行・編集／(公財)新潟県文化振興財団 編集・制作／(株)東朝日広告社 デザイン／(株)プロダクションエム 印刷／昭栄印刷(株)

公益財団法人 新潟県文化振興財団

— “感動”が人をつくる —

Culture Niigata

新潟文化情報誌
カルチャーにいがた

2016.03-05
vol.86



NEXT STAGE

— 情熱の行方 —
鼓童 渡辺健吾

親子で楽しもう

新潟イベント情報

— シリーズ —
URAKATA

NEXT STAGE

—情熱の行方—

これからの舞台芸術を担う、新潟ゆかりのアーティストを紹介する「NEXT STAGE」今回は、新潟市出身であり、佐渡を拠点に国内外で活動する太鼓芸能集団「鼓童」のメンバーの渡辺健吾さんに、鼓童そして太鼓打ちとしての想いを聞いた。

太鼓芸能集団「鼓童」
渡辺健吾 Kengo Watanabe

僕のルーツは郷土芸能、新潟万代太鼓です

—小さい頃はどんな少年でしたか？

小学校の低学年頃までは内気で、本ばかり読んでいた子どもでした。その性格を直したくて水泳、空手を始め、中学では剣道部、高校はボクシング部に所属しました。太鼓は小6から始めました。友だちが太鼓を打つ姿を見て「カッコいい!」と思ったのがきっかけです。

—高校3年まで新潟の太鼓グループに所属されていたそうですが、具体的な活動を教えてください。

新潟万代太鼓のグループに入り、小学校の体育館で週1回行われる稽古に参加していました。佐渡おけさや新潟甚句といった曲に合わせ、みんなで太鼓を打つのがすごく楽しかった。家でもエア太鼓で練習したり、どうしたらカッコよく見えるか、打ち方を鏡で研究したり。たぶんそのグループの子どもの中では一番太鼓に夢中で、一番練習していたと自負しています。活動としては夏祭りやサービスセンター、老人ホームで演奏したり、高校生になってからは大人に交じってホテルなどのイベントに参加したりしていました。

—鼓童との出会いは高1のとき。

太鼓の先生に誘われて新潟県民会館に公演を観に行っただけです。レベルも音の迫力も凄まじく圧倒されました。

演奏というよりこれは表現なんだというのを身体で感じたというか。何より舞台の人たちみんなが楽しそうだったのが、目に焼き付きました。

—高校卒業後、鼓童の研修所へ入所した決め手は？

実は消防士になるつもりでした。高3のとき、自分は何が一番やりたいのかを改めて考え「太鼓がやりたいのなら、それを仕事にしちゃおう」と方向転換。その際、他の太鼓グループもいくつか検討したのですが、鼓童の演奏がダントツにストレートに伝わってくるものがあったので、ここにしました。



小学6年生の頃

—研修所ではどんな生活を？

朝5時起床。体操、掃除、ランニング、朝食を済ませて9時半から12時まで太鼓の稽古。当番が作った昼食を食べて午後2時から5時まで再び太鼓。夕食後は7時から個人練習をして10時に就寝。日によっては農作業や茶道、能のお稽古が入りました。

携帯なし、テレビなしは意外にすぐ慣れたのですが、集団生活が最初はかなりきつかった。稽古でも早打ちについていけなかったり、曲が覚えられなかったり、言われたことができなかったり。僕ができないと演奏がまとまらず、そのたびに同期に迷惑をかけてしまうし、気持ちのぶつかり合いがつらく、何度も辞めたいと思いました。実際、辞めるって言ってしまったことも。でも「次の研修生発表会まで頑張ろう」と思って頑張るとふっと壁を一つ越えたように楽になれる瞬間があって。その繰り返しで何とか2年間の研修所生活を乗り越えた気がします。

—でも、2014年に準メンバー、15年からメンバーに。そのためにどんな努力をされましたか？

一つひとつ階段を上るように、できることをちゃんとできるようにしていこうと、稽古を積み重ねてきただけです。今そのスタンスは変わらないです。

—とはいえ準メンバー時代に「打男」のフランス・スペイン公演で「巴」を担当、メンバーになった昨年は国際芸術祭「アース・セレブレーション」城山コンサートで「三宅」のセンターポジションに抜擢されています。

「三宅」は東京・三宅島の芸能をもとにした曲で、太鼓を横にして腰を低くして叩きます。そのセンターを務めさせてもらったことは本当に感激でした。というのも、僕は「三宅」をやりたくて鼓童に入ったところもあるからです。とは言っても、まだまだ全然ダメ。自分の演奏に満足していません。もっと練習をして「三宅と言えば、健吾でしょ」と言ってもらえるほどの腕前になりたい。先輩たちに早く追いつきたいです。



アース・セレブレーション2015 城山コンサート『三宅』 撮影：宮川舞子

鼓童の太鼓はストレートに心に響く 演奏と言うより表現だと体で感じた



鼓童 ワン・アース・ツアー～永遠『四段』

撮影：岡本隆史

—渡辺さんが思う、鼓童の魅力は何でしょうか？

まず、公演で国内外問わず、いろんなところへ行って、様々な人と出会えること。そこでの縁がさらに違う場所や人との出会いに広がったり。とにかく刺激に満ちています。それと先輩後輩の関係です。先輩は後輩に全力で伝えようとするし、後輩はそれを全力で受け止め、一度言われたことは忘れない。でも、舞台では先輩後輩関係なく、一致団結して演奏できる。そこがすごいです。一打一打が、ただ上手いだけではなく、いかにお客さんに響くか伝わるかを大事にし、どう届けたら一番カッコいいか、届くか、みんながそれぞれに考えて、実践できる。それがそのまま鼓童の演奏の魅力につながっていると思います。

僕の新潟育ちの太鼓の音を 多くの人に聴いてほしい

一観る人たちにはどのように楽しんでもらいたいですか？
僕の演奏を観て聴いて、素直に「楽しそうだな」「すごいな」と感じてもらえたらすごくうれしい。そのためには直球で伝わる太鼓が打てるようになりたいです。僕は小6のとき、新潟で太鼓を始めて、今も新潟で太鼓を続けています。そして、これからも新潟で太鼓を打ち続けていきたいと思っているので、ぜひ、鼓童を知らない人も太鼓を知らない人も、新潟育ちの、僕の太鼓の音を聴きにきてほしいです。

一最後に、ご自身にとって新潟はどんな場所か、教えてください。
公演でいろいろな土地を訪れ、そのたびにいいなと思うのですが、やはり故郷新潟は最もホッとできる場所。落ち着きます。一番好きなのは冬の朝の空気の匂い。あとは意外に都会だなと(笑)。昔よりもずいぶん人も増えたとし、街も発展したなと思います。

撮影協力：文京シビックホール(東京都)



渡辺 健吾

1993年、新潟市生まれ。小学6年から高校3年まで地元の太鼓グループで活動。2012年、佐渡にある鼓童の研修所に入所し、15年よりメンバーに。舞台では主に太鼓を担当。平胴太鼓などの大きな太鼓を得意とする、腰の決まりと打ち姿が美しい若手メンバー。

KODŌ 【公演情報】

1月～3月 / 「鼓童ワン・アース・ツアー2016～神秘」(ヨーロッパ)
4月29日(金・祝)～5月5日(木・祝) / 鼓童佐渡宿根木公演2016 春-(新潟・佐渡市)
6月～7月 / 「鼓童ワン・アース・ツアー2016～混沌」(日本国内)
7月1日(金)～3日(日) / 鼓童浅草特別公演「若い夏」(東京・台東区)
8月18日(木)、19日(金)、20日(土) / 太鼓芸能集団 鼓童 創立35周年記念コンサート(東京・港区)
8月26日(金)～28日(日) / アース・セレブレーション2016(新潟・佐渡市)
9月～12月 / 「鼓童ワン・アース・ツアー2016～螺旋」(日本国内)
9月19日(月・祝)、24日(土) / 鼓童交流公演(新潟県内) ※詳しくはP10をご覧ください。

Question & Answer

Q. 休日の過ごし方は？

佐渡に居るときは稽古をしていることが多いのですが、公演で他の地域へ行った際はよく散歩をしています。いろいろな街を散策するのが好きなので。

Q. 一番、リラックスするのはどんなとき？

一人暮らししている先輩の家にお邪魔しているとき。その先輩の前だと不思議に素の自分が出せ、本当にリラックスできるんです。

Q. いまハマっているものは？

作曲です。太鼓の曲を作る上で音符を理解しておくといふと楽典や、リズムに関する専門書を読んだりしています。以前はロックばかりでしたが、勉強も兼ねて民謡や三味線の曲、能のお囃子、クラシックなど幅広いジャンルの音楽を聴いています。

Q. ご自身の性格を自己分析すると？

何かとつい気にしてしまい、落ち込みやすく、ため込むタイプ。どうしたらその性格を直せるかを今悩んでいます。血液型はA型です。



鼓童 打男 DADAN 2015『巴』

撮影：岡本隆史



美術展・写真展

ジブリの大博覧会

3/5(土)～5/15(日) 新潟県立近代美術館

9:00～17:00 3/7, 14, 22, 4/11, 18, 25, 5/9休館

料金
一般 1,300円
高校・大学生 1,100円
中学生以下 無料
主催・お問合せ
新潟県立近代美術館
0258-28-4111

料金

一般 1,300円
高校・大学生 1,100円
中学生以下 無料
主催・お問合せ
新潟県立近代美術館
0258-28-4111



©2014GNDHDDTK



©1984 二馬カ・GH

コンサート

託児あり

新潟県立近代美術館連携事業

春を呼ぶ ハープ&オルガンコンサート

3/12(土) 14:00

長岡リリックホール コンサートホール

出演：山宮るり子(ハープ)
山本真希(オルガン)
〈第1部〉ハープとオルガンで描く「ジブリの世界」
〈第2部〉ハープとオルガンの「優美な世界」



山宮るり子



山本真希

料金

全席指定 2,000円
※4歳未満の入場はご遠慮下さい。

主催・お問合せ

(公財)長岡市芸術文化振興財団
0258-29-7715

ミュージカル・演劇・舞踊

託児あり

オペラシアターこんにやく座

オペラ〈口はロボットの口〉新演出

5/5(木・祝) 14:00

りゅーとびあ 劇場

ほく、名前はテト。ロボットです。ほくのたったひとつだけとくいなもの、それは、パンをつくること。自分にとって一番大切なことは何なのかを教えてくれるオペラ。ご家族揃ってお楽しみ下さい。



台本・演出：鄭義信
作曲：萩京子

料金

全席指定 2,000円
中学生以下 1,000円
※4歳未満の入場はご遠慮下さい。

主催・お問合せ

りゅーとびあ チケット専用ダイヤル
025-224-5521
(11:00～19:00 休館日を除く)



新潟イベント情報

県内で行う様々な催物をお届けします。
会場に足を踏み入ると、そこは別世界。
是非、体感してみてください。

「新潟イベント情報」への掲載をご希望の方は、下記までご連絡ください。
次号vol.87は、5月下旬発行予定です。4月上旬までに、6月～8月の催物情報をお寄せください。

(公財)新潟県文化振興財団 事業課「カルチャーにいがた」係

TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818 E-mail jigyou@niigata-bunka.jp

※【助成事業】は(公財)新潟県文化振興財団助成事業です。
※主催者等の都合により、内容等が変更になる場合があります。また、未就学児は入場不可の場合があります。☺【託児あり】(要予約)の公演には託児室を設置します。
詳細については、各問い合わせ先へご確認ください。

ホームページ「新潟文化物語」にも各種催物情報を掲載しています。
掲載をご希望の方はホームページ上から登録をお願いします。
※「ニイガタ見聞楽」は、3月31日で終了致します。詳しくはP11をご覧ください。

新潟文化物語 検索

分野別アイコン コンサート ミュージカル・演劇・舞踊 古典・伝統 美術展・写真展 イベントなど

コンサート ☺ 託児あり

東京混声合唱団メンバーによる特別演奏会 in 聖籠

3/6(日) 15:00 聖籠町文化会館

東京芸術大学声楽科の卒業生により創設された、日本を代表するプロの合唱団による特別演奏会です。

出演:佐々木新平(指揮)
田島葉子(ピアノ)
合唱:東京混声合唱団メンバー(16名)
曲目:日本の合唱曲「河口」「大地讃頌」「小さな空」ほか



料 金	全席自由 2,000円 高校生以下 1,000円 (当日各500円増) <small>※未就学児の入場はご遠慮ください。</small>
お問合せ	聖籠町町民会館 0254-27-2121

【主催】聖籠町教育委員会

イベントなど

妙高和太鼓フェスティバル

3/13(日) 13:30 妙高市文化ホール

地域で活躍する団体による、春を上げる和太鼓の祭典。特別ゲストステージは結成21周年を迎えた海谷太鼓(糸魚川市)が妙高に初登場。終演後に妙高スイーツが抽選で当たる恒例の大抽選会あり。

出演:海谷太鼓(特別ゲスト/糸魚川市)
須弥山太鼓保存会、景虎太鼓、あらいばやし保存会、かなやの里更生園太鼓クラブ遊遊太鼓、高橋三弦会、マリンバ妙高、妙高和太鼓芸能会



料 金	全席自由 入場無料 (要整理券) <small>※配布場所:妙高市文化ホール</small>
お問合せ	妙高市文化ホール 0255-72-9411

【主催】(公財)妙高文化振興事業団

ミュージカル・演劇・舞踊 ☺ 託児あり

りゅーとぴあ演劇スタジオ キッズ・コース APRICOT 2016 春季公演「砂の妖精」

3/19(土)・20(日) 各日 15:00 / 18:00, 21(月・振休) 11:00 / 15:00

りゅーとぴあ スタジオA
普段練習場所として使っているスタジオを会場に、日頃の練習の成果を発揮するトレーニング性を重視した公演。子どもたちに演出を任せ物語をユーモアたっぷりに描きます。



脚本:小笠原京子 作曲:野瀬珠美
監修:戸中井三太 他 演出・出演:APRICOTの子ども達

料 金	全席自由 入場無料 (要整理券) <small>※4歳未満の入場はご遠慮ください。</small>
お問合せ	りゅーとぴあ 025-224-7000

【主催】新潟県、新潟県次世代の舞台芸術担い手育成事業実行委員会、(公財)新潟市芸術文化振興財団

イベントなど

宝くじふるさとワクワク劇場 in 魚沼

3/20(日) 14:00 魚沼市小出郷文化会館

第1部は、林家正蔵、宮川大助・花子、桜稲垣早希など人気芸人による「お笑いオンステージ」、第2部は、トーク「ふるさと、わが町あのひと、このひと」、第3部は吉本新喜劇メンバーとオーディションで選ばれた地元魚沼市のみなさんが出演する「ほのほのコメディ劇場」の豪華3本立!見どころ満載のステージ。



料 金	全席指定 2,000円(当日500円増) <small>※4歳以上のお子様は1人1枚チケットをお求めください。4歳未満は観上鑑賞は無料。</small>
お問合せ	魚沼市小出郷文化会館 025-792-8811

【主催】魚沼市、新潟県、(一財)自治総合センター

イベントなど ☺ 託児あり

大芸能祭2016

3/21(月・振休) 11:30 見附市文化ホール アルカディア

伝統芸能をはじめ、様々なジャンルの出演者が登場します。来場者の皆さんの投票による見附の唄コンテストや、普天間かおりミニコンサートもあります。どうぞお楽しみに。

出演:伝統芸能フェスタ、見附の唄コンテスト、アルカディアフェスティバル、普天間かおりミニコンサート



料 金	全席自由 500円(当日300円増) 高校生以下 無料(要整理券) <small>※未就学児の入場はご遠慮ください。</small>
主催 お問合せ	見附市文化ホール アルカディア 0258-63-5321

コンサート

ラナンキュラスヴォーカルコンサート vol.13 歌曲&オペラアリアへの誘い~晴れやかな魅力~

3/27(日) 14:00 だいしホール

華やかなオペラアリアや日本歌曲の独唱と、名曲の重唱をどうぞお楽しみください。

曲目:歌曲「ドン・ジョヴァンニ」より二重唱「手を取り合って」
歌曲「ラ・ボエーム」「椿姫」「仮面舞踏会」「清教徒」「セミラミデ」「夢遊病の娘」
喜劇「メリー・ウィドウ」よりアリア 他



料 金	全席自由 2,000円(当日300円増) 大学生以下 1,000円
お問合せ	025-268-1937(北住)

【主催】ラナンキュラスの会

コンサート

丸田悠太フルート・ピッコロリサイタル

4/7(木) 19:00 新潟市音楽文化会館

東京佼成ウインドオーケストラのフルート・ピッコロ奏者として活躍中の丸田悠太のリサイタル。5年振りとなる地元新潟での演奏にご期待ください。

出演:丸田悠太(フルート・ピッコロ)
佐々木和子(ピアノ)
曲目:W.A.モーツァルト「ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第25番 長調K.301(293a)」
Ch.M.グイドーラ「組曲op.34」
G.ショッカー「ピッコロとピアノのためのソナタ 他」



料 金	全席自由 2,500円 学生 2,000円 <small>※未就学児の入場はご遠慮ください。</small>
主催 お問合せ	(株)サウンドフィックス 042-370-1844

コンサート

武満徹没後20年 ギターとうた ~名曲を贈るプログラム~

4/10(日) 14:00 りゅーとぴあ 能楽堂

武満徹と親交が深かった荻村清志と、「タケミツ作品」での共演を続けている大萩康司&林美智子らトップアーティスト3人による『ギターとうた』の名曲を贈るプログラム。

曲目:武満徹/すべては薄明のなかで、フォリオス、小さな空、タルレガ/アルハンブラの思い出、ファジル・サイ/リキアの王女、ファリャ/7つのスペインの民謡 他



料 金	全席自由 4,000円 ペアチケット 7,000円 <small>※未就学児の入場はご遠慮ください。</small>
主催 お問合せ	新潟クラシック愛好会 080-5676-0491 (10:00~19:00)

ミュージカル・演劇・舞踊 ☺ 託児あり

宝塚歌劇月組全国ツアー

4/12(火) 新潟県民会館 大ホール
4/13(水) 上越文化会館 大ホール

星の部 14:00 夜の部 18:00
月組選抜メンバーが挑む!名作の再演!!
熱い『情熱のステージ』にご期待ください!
出演:珠城りょう、愛希れいか 他
演目:ミュージカル・ブレイ『激情』-ホセとカルメン-
脚本:柴田侑宏 演出:振付:謝珠栄
演目:ファンタティック・ショー「Apasionado!!!」
作・演出:藤井大介



料 金	全席指定 S席 7,300円 A席 6,000円 <small>※未就学児の入場はご遠慮ください。</small>
お問合せ	新潟県民会館 025-228-4481 上越文化会館 025-522-8800

【主催】TeNYテレビ新潟、(公財)新潟市芸術文化振興財団(新潟のみ)、上越文化会館(上越のみ)

コンサート 3/1(火)発売開始

新潟バッハ管弦楽団&合唱団 長岡公演

4/16(土) 17:00 長岡リリックホール コンサートホール

「私たちは10年間でバッハの大規模な主要作品のすべてを新潟県人の力で上演します!」壮大な目標を掲げて昨年結成された新潟バッハ管弦楽団&合唱団70余名がバッハの神髄に迫ります。

出演:新潟バッハ管弦楽団&合唱団
曲目:バッハ/管弦楽組曲第2番
ミサ曲短調より「キリエ」
クリスマス・オラトリオ第4部 他



料 金	全席自由 2,000円 高校生以下 1,000円 (当日各500円増)
主催 お問合せ	新潟バッハ管弦楽団&合唱団(やおいた) 090-7254-5057

コンサート 託児あり

トリオ・ベルガルモ 室内楽シリーズNo.16 ドゥムカ ウクライナから響く喜びと悲しみの歌

4/17(日)
昼の部 14:00 夜の部 18:00
スタジオ・スガマタ



ベル(仏語)=美しい、ガルモニア(露語)=調和、の意を込めて結成されたトリオ・ベルガルモ。それぞれの個性を生かした美しい調和をぜひご堪能ください。

出演:庄司愛(ヴァイオリン)、渋谷陽子(チェロ)、石井朋子(ピアノ)
曲目:ベートーヴェン/ピアノ三重奏曲 第1番 変ホ長調 Op.1-1
マイケルドーハティ/リグレット・オンリー
ドヴォルザーク/ピアノ三重奏曲 第4番 短調「ドゥムキー」


料金 全席自由 2,000円(当日500円増)
※各回定員40名

主催お問合せ トリオ・ベルガルモ 090-7258-6801

コンサート 託児あり

宮川彬良×米良美一 ふたりの歌謡ショー

4/17(日) 15:00 上越文化会館 大ホール



マツケンサンバIIなどの作曲で、いま大人気のピアニスト・宮川彬良と、もののけ姫の大ヒットで知られるカウンターテナー・米良美一との、夢の「異色」ジョイントコンサート!昭和の名曲から、もちろん軽妙で楽しい二人のトークも見逃せません。

出演:宮川彬良、米良美一
ダイナマイトしゃかりきサーカス

料金 全席指定 S席 4,000円 A席 3,000円 B席 2,000円(当日各500円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催お問合せ 上越文化会館 025-522-8800

コンサート 託児あり

ポール・モーリア ラブ・サウンズ・コンサート

5/14(土) 14:00 新潟県民会館 大ホール



華麗なるポール・モーリアサウンドが蘇る!大人のイージーリスニングをこの機会にどうぞお楽しみください。

出演:ジャン・ジャック・ジュスタフレ(指揮)
曲目:恋はみずいろ、オリーブの首飾り、涙のトゥカータ、エーゲ海の真珠ほか全20曲予定

料金 全席指定 S席 9,000円 A席 8,000円 B席 5,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 新潟県民会館 025-228-4481

【主催】TeNYテレビ新潟、(公財)新潟市芸術文化振興財団

コンサート 託児あり

「TOYOSAKA BigBand」結成5周年記念コンサート

5/15(日) 13:30 新潟市北区文化会館



新潟市北区を拠点に活動を始めて5年になりました。学生からベテランまで幅広い年齢層で、ジャズ・ラテン・ポップスなど、ワクワクドキドキの演奏でお送りします。

出演:TOYOSAKA BigBand
タンゴ エチゴリアン(ゲスト)
曲目:THE CAT
SWITCH IN TIME
酒とバラの日々 他

料金 全席自由 1,000円(当日200円増)

主催お問合せ TOYOSAKA BigBand (市島) 090-3476-0604

コンサート 3/19(土)発売開始

マイタウン・コンサート ~迫力のプラスサウンド~

5/21(土) 14:00 南魚沼市民会館 多目的ホール



新潟初のプロの吹奏楽団「新潟プラス☆プラス☆プラス」のメンバーがお贈りする管楽器の魅力。皆さんに愛される身近な吹奏楽を通して音楽の感動や心温まる瞬間をお届けします。プラスサウンドの楽しさがいっぱい詰まったコンサートをお楽しみください。

出演:小泉智彦(指揮)

料金 全席自由 500円 中学生以下無料(要整理券)

お問合せ 南魚沼市民会館 025-773-5500

【主催】(公財)新潟県文化振興財団、(公財)南魚沼市文化スポーツ振興公社

古典・伝統 託児あり 4/18(月)発売開始

松竹大歌舞伎

7/26(火) 昼・夜 2回公演
※開演時間は決定次第、県民会館ホームページ等でお知らせします。

新潟県民会館 大ホール



毎年恒例、大人気の「松竹大歌舞伎」。今回は豊かな演技力で歌舞伎以外でも多彩な活躍を見せる市川染五郎が、「忠臣蔵」を題材にした「松浦の太鼓」を演じます。

出演:市川染五郎、市川高麗蔵、中村歌昇、中村孝太郎、嵐橋三郎
演目:一、ご挨拶 二、晒三番叟 三、松浦の太鼓 四、粟餅

料金 全席指定 特等席 6,000円 一等席 4,500円 二等席 2,500円
歌舞伎初めて席 1,000円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

お問合せ 新潟県民会館 025-228-4481

【主催】(公財)新潟市芸術文化振興財団


美術展・写真展

探検!むかしのくらし

3/13(日)まで 上越市立総合博物館
10:00~16:00

まだ電化製品が少なかったころは、どんな道具を使って暮らしていたのでしょうか。明治~昭和30年代まで使われていた懐かしい道具を当時の写真とあわせて紹介します。

関連イベント
※小学3年生以下は保護者の同伴が必要
【作ってあそぼう】
チョッキンパズでかざろう「切り紙ハッピーカード」 3/5(土) 参加無料
★カワイイがざりて変身★「貝から根付」 3/6(日) 参加費50円
これぞ、定番!昔ながらの「お手玉」 3/13(日) 参加費50円
スペシャルプログラム「おじいちゃんの宝をさがせ!」
3/12(土) 10:00~/13:00~/小・中学生対象 参加無料



料金 一般 300円 小・中・高校生 150円 幼児及び上越市内の小・中学生 無料

主催お問合せ 上越市立総合博物館 025-524-3120

日本が誇る景観美

3/21(月・振休)まで 棟方志功アートステーション
9:00~17:00 (入館は16:30まで)

三国街道塩沢宿「牧之通り」が、平成27年度「アジア都市景観賞」を受賞したことを記念して、景観美をテーマに展示します。日本作品からは棟方志功をはじめ、葛飾北斎や吉田博の版画など、また外国作品からはピュッフェやシャガールなど様々な景観美をご覧いただけます。



料金 一般 500円 小・中・高校生 250円

主催お問合せ 棟方志功アートステーション 025-770-1173

「大地の芸術祭」の里 越後妻有2016 冬 3/21(月・振休)まで
全てのプログラムが冬のスペシャルチケット提示で無料となります。

池田光宏「Homemade Landscape」
まつだい「農舞台」
10:00~17:00 水曜休館 (入館は16:30まで)
第2、3回芸術祭の人気作家が越後妻有に凱旋。視覚が刺激される展覧会です。

関連イベント
雪の運動会 越後まつだい冬の陣バージョン 3/12(土) 14:30~17:00(屋外) 無料
高橋匠太「光の回廊」 3/4(金)~3/6(日)、3/11(金)~3/13(日) 17:00~20:30 一般 500円 小・中学生 250円



料金 一般 600円 小・中学生 300円

お問合せ 「大地の芸術祭の里」総合案内所 025-761-7767

田中奈緒子「物質の夢想」
越後妻有里山現代美術館 [キナレ]
10:00~17:00 水曜休館 (入館は16:30まで)
2015芸術祭で絶賛された光と影の展覧会「冬バージョン」。圧巻の幻想世界です。

関連イベント
雪と光と音のインスタレーションパフォーマンス「ZONE」 3/11(金)~3/13(日) 18:00 一般 1,000円 小・中学生 500円(入館券提示で200円割引)
冬のおそびば2016 2/27(土)~3/6(日) 10:00~16:00(屋外) 500円(入館券提示で無料)



料金 一般 1,000円 小・中学生 500円

photo Osamu Nakamura

遺跡と民俗から見る稲作

3/27(日)まで 新潟市文化財センター(まいぶんポート)
9:00~17:00 月曜休館(祝日の場合はその翌日)
新潟市では弥生時代の炭化した米が見つかっており、少なくとも2100年ほど前から稲作が始まっていたと考えられています。発掘作業によって出土した水田遺構や稲作関連の木製品・金属製品などの農具などを紹介します。

関連イベント
「小坂居付遺跡の水田について」 3/13(日) 13:30 研修室 定員80名(先着)
講師:佐藤友子氏(新潟県文化行政課)



料金 入場無料

主催お問合せ 新潟市文化財センター(まいぶんポート) 025-378-0480

新潟市会津八一記念館40周年記念企画展 会津八一 藝に遊ぶ

3/27(日)まで 新潟市会津八一記念館
10:00~18:00 (入館は17:30まで)

月曜休館(祝日の場合はその翌日)ただし2/12は開館
歌人・書家・東洋美術史学者の會津八一は、若いころから絵を描くことが得意でした。本展では會津八一が墨絵で描いた四君子(梅、竹、蘭、菊)、果物、小動物、仏像の絵などに、愛唱の漢詩、自作の歌や俳句を書き入れた自画賛、油絵や絵手紙などを展示します。そのほか八一と交流のあった版画家・棟方志功や恩師・坪内逍遙との合作もいくつか紹介します。この機会にぜひ足を運んでください。



料金 一般 500円 大学生 300円 高校生 200円 小・中学生 100円
※土日祝日は小・中学生無料

主催お問合せ 新潟市会津八一記念館 025-282-7612

懐かしい写真で振り返る
阿賀野川・光と影の近代ものがたり
 ~イザベラ・バードから近代産業まで~

3/2(水)~3/15(火)
 新潟市江南区郷土資料館(江南区文化会館内)
 10:00~19:00 (日曜10:00~17:00)
 金曜休館

3/18(金)~3/31(木)
 新潟市北区文化会館
 9:00~22:00 (最終日は17:00まで)
 3/28休館



阿賀野川流域の光と影の歴史をテーマとした巡回パネル展です。

料金 入場無料
お問合せ 一般社団法人 あがのがわ環境学会 0250-68-5424
【主催】新潟県

館所蔵品展 ~春の展示~

3/5(土)~4/10(日) 長岡市栃尾美術館
 9:00~17:00 (券売は16:30まで)
月曜休館(祝日の場合はその翌日)

長岡市栃尾美術館が所蔵する数々の作品の中から、長岡にゆかりのある作家を中心に紹介します。富川潤一や椿悦至などの作品をはじめ、様々な絵画、書など約30点を展示します。この機会にぜひ栃尾美術館へ足を運び、長岡ゆかりの作品群に触れてみてはいかがでしょうか。



富川潤一「新潟の市場」

料金 一般 200円 高校・大学生 150円 小・中学生 100円
お問合せ 長岡市栃尾美術館 0258-53-6300
【主催】長岡市教育委員会、長岡市

アナタにツナガル展
 CONNECTING WITH YOU

4/10(日)まで 新潟市美術館
 9:30~18:00 (券売は17:30まで)
月曜、3/22休館、ただし3/21は開館

わたしたちは、ほんとうにだれかとツナガルことができるのでしょうか。遠くて近い、アナタへ、愛をこめて。折元立身、岩井成昭ら5人の作家が紡ぎ出す、アナタに出会うストーリーをご堪能ください。

アーティストトーク
3/6(日) 14:00~15:30
 出演:折元立身氏(本展出品作家) 申込不要(要観覧券)
3/13(日) 14:00~15:30
 出演:岩井成昭氏(本展出品作家/秋田公立美術大学ビジュアルアート専攻教授) × ナシモトタオ氏(映像作家/国際映像メディア専門学校映画プロデュース科科長)
 申込不要 定員80名



TATSUMI ORIMOTO ART MAMA + Son September 24, 2008

料金 一般 1,000円 高校・大学生 800円 中学生以下 無料
主催 新潟市美術館 025-223-1622

現代のアートとデザイン

3/12(土)~4/17(日) 新潟県立万代島美術館
 10:00~18:00 (券売は17:30まで)
3/14、28、4/11休館

美術館にでも行ってみようかな?と思ったら、それが新たな世界と出会うチャンス。館の所蔵品から西暦2000年前後の新しい作品を中心に、新鮮な目と心で体験していただく展覧会です。



永井一正(Life) 1999

関連イベント
美術鑑賞講座
水島爾保布の挿絵「人魚の嘆き 魔術師」をめぐって
3/13(日) 美術館ロビー
3/27(日) NICOプラザ会議室(万代島ビル11F)
 講師:桐原浩(新潟県立万代島美術館業務課長)
 両日同じ内容 各回 14:00~ 聴講無料 申込不要

料金 一般 310円 高校・大学生 150円 中学生以下 無料
主催 新潟県立万代島美術館 025-290-6655

おふだにねがいを -呪符-

4/23(土)~6/5(日)
 新潟県立歴史博物館 9:30~17:00 (券売は16:30まで)
月曜休館、ただし5/2は開館

古代より人びとは「おふだ(お札)=呪符」を作り、それにすがってきました。このような呪符への信仰は現代に至るまで連続と続いています。心の問題である祈りや呪い(まじない)、それを形にした呪符を歴史学・考古学・民俗学など様々な視点から今一度考え直してみませんか。

関連イベント
おふだトーク
「モーゲーターの未知なるパワー~恋愛だけは効きません~」
5/8(日) 13:30~15:00 講堂 定員150名
 ゲスト:遠藤麻理(FM PORT モーニングゲートナビゲーター)
 聞き手:浅井勝利(新潟県立歴史博物館研究員)
講演会「書物と呪術・秘伝(仮)」
5/22(日) 13:30~15:00 講堂 定員150名
 講師:小池淳一氏(国立歴史民俗博物館教授)



蘇民将來符(浦佐:千手院)

料金 一般 720円 高校・大学生 500円 中学生以下 無料
主催 新潟県立歴史博物館 0258-47-6130

未公開の本館25部屋全室公開決定!

4/1(金)~11/30(水)
 中野邸美術館
 春季 9:30~16:30 秋季 9:00~17:00

全館全室公開!! 過去一度も公開していない本館約25室を全室公開します。石油王の往時の設えを是非ご覧下さい。



中野邸内広間

関連イベント
中野邸美術館分館「誰の町家」がオープンしました。
 みなさまのご来館をお待ちしております。
*分館は別料金が必要です。詳細はHPをご覧ください。

料金 一般 700円 大学・専門学校生 500円 高校生以下 無料
主催 中野邸美術館 0250-25-1000

新潟県文化振興財団 平成28年度事業のご案内

県内各地のホールなどと共催で以下の公演を実施します。
 詳細はカルチャーにいがたvol.87(5月25日発行)でお知らせします。

劇団四季ミュージカル
『ウェストサイド物語』 WEST SIDE STORY
ウェストサイド物語

ジョーイ・マクニリー氏による新演出「ウェストサイド物語」に、ご期待ください。



(前回の公演より)撮影:荒井健

8/21(日)
 上越文化会館

N響メンバーによる
ブラス・クインテット

クラシックの名曲から映画音楽、ジャズまで楽しいトークと共にお楽しみください。



トランペット 菊本和昭(首席)

9/3(土)
 魚沼市小出郷文化会館
9/4(日)
 糸魚川市民会館

はじめてのKABUKI

元NHKアナウンサー葛西聖司さんの解説による「はじめてのKABUKI」。歌舞伎の立ち回りが体験できるワークショップや牛若丸と弁慶の出会いを描いた秀作『五条橋』を上演します。



葛西聖司

9/10(土) 14:00
 南魚沼市民会館

9/11(日) 14:00
 津南町公民館



鼓童交流公演

太鼓の魅力が五感で感じられる舞台。演奏はもちろんのこと、太鼓体験コーナーや楽しいトークが人気!

9/19(月・祝)
 14:00
 湯沢町公民館

9/24(土)
 14:00
 小千谷市民会館



劇団四季ファミリーミュージカル
『ガンバの大冒険』

未知への冒険が教えてくれる、「勇気」「優しさ」「絆」そして「友情」。劇団四季が贈る感動の舞台。



10/29(土)
 見附市文化ホール アルカディア
11/5(土)
 柏崎市文化会館 アルフォーレ

チェコ・フィル
ストリング・カルテット

これが聴きたい!
 アンコール"超名曲"ベスト20!

2017
1/28(土) 14:00
 上越文化会館
1/29(日) 14:00
 新発田市民文化会館



マイタウン・コンサート
 新潟県出身・在住の演奏家によるお話し付きの楽しいコンサートを県内各地にお届けします!

新潟ブラス☆ブラス☆ブラス

5/21(土) 南魚沼市民会館
*詳細はP7をご覧ください。

7/3(日) 青海総合文化会館(糸魚川市)

8/27(土) さんぽく会館(村上市)

9/3(土) まつだいふるさと会館(十日町市)

9/16(金) 長岡市中之島文化センター



アンサンブル・オビリー

6/9(木) 粟島浦小中学校



撮影:中村倫



新潟県文化振興財団をもっと身近に感じる
facebookはじめます!

※画像はイメージです。

- 🎵 **公演情報**
財団主催の公演情報を詳しく掲載します。
- 📖 **カルチャーにいがた**
2大特集記事は読み応え満載
NEXT STAGE -情熱の行方-
-シリーズ- **URAKATA**
- 📣 **助成・後援**
みなさんの自主的な文化活動を
応援します。
- 🏠 **県内の文化施設**
新潟県のホールや文化施設、
イベント会場が一目でわかります。

新潟の地域文化を紡ぎ繋げる
新潟文化物語 にイベントの登録をお願いします。

ホームページのリニューアルに伴い「ニイガタ見聞楽」は3月31日で終了いたします。
今後のイベント情報は、新潟県文化振興課が管理しております「新潟文化物語」に統一し、当財団ホームページからリンクさせていただくことにしますのでご了承ください。

詳しくは、 <http://www.n-story.jp/>

まずはコチラからユーザー登録



Culture
Niigata

- 発行回数 年4回(5月、8月、11月、2月)
- 発行部数 15,000部
- 配布先 市町村、公民館、文化施設、金融機関、大学等

●発行 公益財団法人 新潟県文化振興財団
TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818
E-mail jigyou@niigata-bunka.jp WEB <http://www.niigata-bunka.jp/ncf>
Address 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-13

「カルチャーにいがた」送付について

「カルチャーにいがた」をご希望の方には郵送料実費にてお送りしています。
住所、氏名、希望する部数を明記の上、返信用切手(下記の金額)を添えて、新潟県文化振興財団までお申し込みください。
1冊140円 2冊205円 3冊250円

— シリーズ —

URAKATA

裏を
語る

舞台裏から、芸術の新たな魅力を発信!



舞台を制作しているのはアーティストだけではない。
音楽・文化・芸術をもっと身近に感じてもらうため、
ここでは裏方で活躍する人々をご紹介します。
第三回は「照明」の仕事について
東京宝塚劇場で活躍する八木優和さんに話を聞いた。

(株)宝塚舞台
八木 優和

師匠と呼べる人の 「あかり」に導かれて

東京・日比谷にある東京宝塚劇場。ほぼ毎日、宝塚歌劇団の公演が開催されるこの場所を拠点に、照明家として活躍する八木優和さん。取材で訪れた日も、数日後に初日を控えた公演のため、劇場内では照明の最終確認が念入りに行われていた。

照明の仕事は、役者の表情や舞台の情景に合わせて、照明の演出をプランニングし、実際に機材を操作すること。八木さんはそこに「照明は仕上げのメイクアップのようなもの」と言葉を添える。舞台は脚本があって次に音楽、演出が決まり、装置や衣装ができていく。それらすべてを踏まえた上で最終的な仕上げ具合を決定するのが照明だからだ。

「照明が頑張りすぎると“厚化粧”になり、舞台が野暮ったくなったり、演出家が本来見せたかったものがかすんでしまったりする危険があります。実際、微妙なライトの動き、明るさ、ニュアンスで舞台の雰囲気さがらりと変わる。奥行きや影の出し方によって役者の表情も違ってきますので責任重大です」

もともと音楽が好きで、東京の専門学校で音響を学んだ八木さん。卒業後、実家のある静岡に戻るものの、音響の仕事がなかったため、現地の照明スタッフとして働き始めた。

そんな中、人生最初の大きな転機が訪れる。後に師匠となる照明家の勝柴次朗氏との出会いだった。「勝柴さんはコンサート、演劇やダンスなど様々な照明を手掛けていたのですが、どのステージも勝柴さんの手にかかるとうまく見える。ドラマチックであり、サプライズ的な感動もあって。こういうあかりの演出を僕もやってみたくて痛烈に思いました。それで上京し、勝柴さんが所属するステージファクトリーに入社させてもらったのです」

調光チーフに大抜擢

入社してすぐ任されたのは、主役級のスターを照らし出すピンスポット。役者の動きを追いながら、そのつど色を切り替えたり、表情が観客に分かるように明るさを調整したりする重要なポジションだ。

「歌い切った瞬間に照明を切ったり、曲が入る瞬間にスポットを当てたりするわけですが、なかなかうまくできない。それで他の作業を担当した方がいいとなって、なぜか調光の、しかもチーフという照明スタッフとしてはメインとなる業務に就くことになったんです」

劇場の客席背後にあるガラスブースの一つが調光室。舞台を見ながら全体の照明をコントロールする心臓部だ。本番はそこで操作を行うわけだが、それ以上に重要なのが本番前の照明の仕込み、準備である。



照明は最後の仕上げとなる メイクアップ 僕ら次第で舞台の良しあしが決まる

次回公演のため、舞台セットに合わせて照明の段取りを確認している様子。東京宝塚劇場

「照明プランナーの構成案をもとに、シーンごとにどんな照明にするのか仕込み図を書き、Aの場面では、具体的にどの機材を何台使うのか、Bのシーンではどのタイミングに、どの機材でどんな照明をあてるのかなどすべて段取りも記録していきます。一つひとつのあたりがそれでいいかどうか、プランナーに確認しながら作りあげていくのが調光チーフの役割。今はそれらをコンピュータでプログラミングしていますが、僕が新人の頃はすべて手作業。相当大変でしたが、手作業で仕事を覚えたことが今の照明家としての、僕の基礎になっています」

仕事は誰かが教えてくれるわけではなく、見て覚える時代。ミュージカルやコンサートなど様々な現場を担当するたびに、プランナーの要望にいかに対応するか自分で考え、自分で工夫しながら技術を習得し、センスを磨きあげた八木さん。3年の調光チーフを経て勝柴氏の助手となり、28歳頃からプランナーとしての業務にも携わるようになっていった。

照明プランを考える時はまず脚本と向き合う。セリフの意味をしっかりとつかむまで徹底的に読み込む。その背景にある情景もとらえる。『夜』と書いてあれば、静寂な夜なのか異常な夜なのかを想像し、照明によってどんな夜の見せ方をするかを考える。

「実際に稽古を見て演出家の意見も聞いて具体的な照明プランを詰めます。先ほども話したように、照明次第で舞台を野暮ったくしたり、役者の演技を殺したりしかねないのでさじ加減が難しい。最大限に効果的な照明にしたい

からこそ、稽古には何度も立ち会います」

様々なプランを考える中で、ダンス公演の照明演出が好きだと気づかせてくれたのが、新潟県出身の振付家・名倉加代子氏が主宰する『名倉ジャズダンススタジオ』の、青山劇場での公演だった。30歳の頃のことだ。「舞台装置が激しく動き、ダンサーも激しく踊る。そんな中、安全を第一としながら、ダンサーの身体の線をしっかり見せるためにはどんな照明にすればいいのかを考えるというのは照明として、とても難易度の高いことです。でも、制約が多ければ多いほど僕は面白く感じるし、やってやろっという気になる。そういう自分を新たに発見できた仕事でもありました」

勝柴氏の助手として現在の活動の中心である宝塚歌劇団の舞台照明を初めて担当したのは92年の『華麗なるギャツビー』だった。

「宝塚はまず衣装のデザインの華やかさ、色の美しさがそのまま見えることが重要。それと端で踊っている出演者たちが、どの席のお客様からもきれいに見えるような照明にすることがポイントなのですが、全体を照らそうとするとベタツとした印象になってしまうので、メリハリをつけた照明の展開を心掛けています」

子どもたちの歓声を聞くと 涙が出そうになる

この仕事の面白いところは、リアルタイムで観客の反応がわかることだと、八木さんは言う。

「特に子ども向けのミュージカルの初日はダメですね。小さな子どもたちがキャッキョ喜んで笑ったり叫んだりするのを聞くと初日までの苦労が報われたようで、涙が出そうになります」

もちろん反応が悪い時もあるが、初日が開けた後、照明の内容を自身の意志で大幅に変えることはない。

「師匠の勝柴さんがよく『プランは潔さだから』と言っていたのですが、本当にその通りなんです。考え抜いたプランだからこそ、いったん幕が開いてからあれこれ言わない。反応の悪さは反省して次に活かす。その姿勢が照明家としてのクオリティーにつながる気がするんですね」

これからも多くの照明プランを手掛け、より多くの人たちに感動を届けたい。そして自身のように照明の仕事にやりがいを持って携わる後進も育てていきたいと考えている八木さんは、最後に若い人へのメッセージとして、こう答えた。

「日本の舞台業界で照明プランナーとして活躍している人はみんな叩き上げ。学校で学んでなれる仕事ではなく、現場での機材搬入、仕込みなど下積みを経験した人たちが第一線にいける。つまり、この世界に入った人すべてに均等のチャンスがある職業。ぜひ舞台に興味のある若い人たちに門を叩いてほしいですね」

次号-シリーズ-URAKATAは衣装にスポットをあてます。



(株)宝塚舞台
八木 優和

1964年静岡県清水市(現静岡市)生まれ。88年照明家・勝柴次朗氏のあかりの世界に憧れて上京。氏と縁のある(株)ステージファクトリーに入社。オペレーターや照明助手としてミュージカル、ストレートプレイ、コンサートなど、様々な現場を担当。92年「華麗なるギャツビー」にて初めて宝塚歌劇に関わる。以後、「エリザベト」など多数の作品に参加。97年「ザ・コンボイSHOW ATOM」にて第16回日本照明家協会新人賞を受賞。2004年(株)宝塚舞台に入社。現在は東京宝塚劇場において公演管理、後進育成に取り組みながら、宝塚歌劇以外の舞台の照明プラン、オペレート、マネジメントも担当。

公演情報

宝塚歌劇月組全国ツアー

4月12日(火) 新潟県民会館 大ホール

昼の部 14:00開演 夜の部 18:00開演

4月13日(水) 上越文化会館 大ホール

昼の部 14:00開演 夜の部 18:00開演

料金 / S席7,300円 A席6,000円(全席指定・税込)

主演 / 珠城りょう、愛希れいか

演目 / ミュージカル・プレイ『激情』—ホセとカルメン—

ファンティック・ショー『Apasionado(アパシオナド)』III

お問い合わせ / TeNYチケット専用ダイヤル

025-281-8000(平日10:00~17:30)



©宝塚歌劇団